

# 平成27年度事業報告

公益財団法人 滋賀食肉公社

## 1 事業概要

「近江牛」をはじめとする県内産食肉の流通拠点である「滋賀食肉センター（以下「センター」という。）」の設置および管理者として、安全安心な食肉を安定的に供給するため、株式会社滋賀食肉市場や滋賀県副生物協同組合と連携して食肉の品質向上等の諸課題について協議検討を行い、HACCP（危害分析・重要管理点）方式による衛生管理を推進した。

一方で、牛、豚のと畜頭数が施設整備当初の計画を下回り、今後も大幅な伸びを見込むことが難しい状況の下、光熱水費や消耗品費等の経費節減を引き続き進めるなど、経営の健全化に向けた取組を進めた。

こうした取組と県からの支援の結果、センター開設以来、初の単年度黒字（当期一般正味財産の増額）を達成した。

## 2 事業実績

### (1) 安全安心な食肉を提供する事業

#### ア 衛生管理を徹底したセンターの設置管理および運営

マニュアルに基づき日々の衛生管理体制を強化するとともに、管理運営会議や業務調整会議等の会議においてセンター構成機関が定期的な意見交換を行うなど業務改善に努め、HACCP方式に基づく衛生水準の一層の強化や業務の見直しを行うことができた。

また、従来のマカオ、タイ、シンガポール、フィリピンおよびベトナムに加え、新たにミャンマーの牛肉輸出施設の認定を取得した。

#### イ 普及啓発事業

平成25年度に策定した「安全・安心を届ける普及啓発プラン」に沿って、各種イベントに参加し、センターの取組や食肉の安全についてのパンフレットやパネル等を用い、一般消費者等に向けて広く啓発を行った。また、県内外からのセンター施設見学を随時受け入れ、安全安心な食肉を提供するための取組についてPRに努めた。

### (2) センターの経営健全化対策事業

牛のと畜頭数については、3年ぶりに減少に転じ、計画頭数および前年度実績頭数をそれぞれ下回った。また、豚のと畜頭数についても、計画頭数および前年度実績頭数をそれぞれ下回ることとなった。

牛、豚ともにと畜頭数が伸び悩む中、厳しい経営状況を改善すべく、経常的な経費の節減や大規模太陽光発電事業の実施、と畜日削減の試行等、収支両面にわたる経営改善策を実行した。

	牛と畜頭数	豚と畜頭数
計画	8,540頭	6,900頭
実績	8,394頭	6,459頭